

### 第3回精華町学校給食基本構想検討会議 会議録

名 称	精華町学校給食基本構想検討会議[第3回]	
開催年月日	平成30年2月23日(金) 午後1時00分～午後3時00分	
開催場所	精華町立図書館 1階 集会室	
出席者名	構成員	(出席構成員) 松井元子、岩井三朗、円山早智子、中川茂成、仲ゆか、尾野久美子、 波尻寛之、安倉敏代、谷村恵巳子、森田理恵、高橋幸子、木村操
	事務局	(事務局) 北澤総括指導主事、竹島学校教育課長 山崎学校教育課主幹、下田管理栄養士
傍聴人	1人	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精華町学校給食基本構想(案)</li> <li>・学校給食基本構想検討会議名簿</li> <li>・パブリック・コメント意見対応表(要約前版)</li> <li>・精華町学校給食基本構想概要版</li> <li>・精華町はおいしいものがいっぱい!みんなでつくる、安全・安心な学校給食</li> <li>・食育基本法</li> </ul>	
議事の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) パブリック・コメントの結果について</li> <li>(2) 精華町学校給食基本構想(案)について</li> <li>(3) 意見交換</li> </ol> </li> <li>3 その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想案の答申等について確認</li> </ul> </li> <li>4 閉会</li> </ol>	
会議の経過	別紙のとおり	

### 【第3回 懇談経過】

#### 1. 開会

- ① 教育長の挨拶を行った。
- ② 議事録の公開、および検討会議の公開の確認を行った。

#### 2. 協議

配布資料についての説明を事務局から行った。

#### 1. 基本構想案の表現について

##### ○中川構成員

13 ページに「昼食時間を食育の時間として」、15 ページに「昼食時間を食の学びの時間、成長過程における」とあるが、「昼食時間」を「給食時間」にした方がよいのではないか。

また、13 ページの「食育環境」という言葉は聞きなれない。言葉の整理をお願いしたい。

⇒「昼食時間」としたのは現在の中学校の昼食時間も短いため、昼食時間の確保も考える必要があるため、「昼食時間」とした。「給食時間」では、給食実施後の話になってしまう。

##### ○森田構成員

昼食時間が短いことは課題であるため、原文のままでよいのではないか。

##### ○松井座長

「また、昼食時間を食育の時間として活用できるよう望ましい食育の環境をめざします」としてはどうか。

— 同了承 —

##### ○安倉構成員

9 ページの主な意見の語尾について、本編でこのような記載をすることに違和感がある。

⇒語尾については検討する。

#### 2. 給食時間について

##### ○安倉構成員

精華西中学校では喫食する時間が 20 分、昼休みが 10 分、移動時間が 5 分となっている。町内の他中学校の現状は把握していないが、生徒への昼食時間に関するアンケートでは昼食時間が長すぎる、短すぎるとの意見がいくつかあった。

⇒他の 2 校では、喫食する時間が 15 分から 20 分となっている。

##### ○中川構成員

学校給食では配膳の時間もあるため、もう少し時間が必要となる。

##### ○松井座長

小学校給食の現状も勘案し、時間割の見直しについて検討いただきたい。

### 3. 学校給食におけるアレルギー対応について

#### ○岩井構成員

学校給食による食育を通じて、アレルギーのある人への理解が深まるとよい。

#### ○森田構成員

昨年度から除去食を実施しており、その関係で子どもや保護者にアレルギーについて説明しており、子どもの理解も深まっていると思う。

現在は栄養士や調理師らの努力によるアレルギー対応が進んでいるが、給食センターへの移行によってアレルギー対応の体制ができることを期待している。

### 4. 給食センターについて

#### ○木村構成員

給食センターは町民のための施設でもあると記載されている。その点も含めて、中学校給食の実施が楽しみである。

#### ○岩井構成員

住民が有料で給食を食べられる機会を作ると、学校給食への理解や安心につながるのではないか。例えば、精華中学校ではシニアスクールを実施しているので、そのような場で給食を食べる機会を作ってはどうか。

⇒給食が地域と中学校の繋ぐ交流のきっかけづくりにもなると考えているので、検討していきたい。

### 5. 学校給食について

#### ○円山構成員

子どもを中心に、子どもが美味しいと思える給食を作っていただきたい。

#### ○尾野構成員

女の子だと周りの目を気にして、小さいお弁当を持っていく。給食になれば、みんなが同じ量を食べるようになるので、学校給食には期待している。

#### ○仲構成員

好き嫌いがあっても給食をきっかけに食べるようになることを期待している。

#### ○波尻構成員

ごはんを食べる時間を生徒達は楽しみにしているので、学校給食が楽しい時間になることを期待している。

#### ○安倉構成員

お弁当から学校給食に移行しても、子どもが楽しめる時間になるとよい。

○岩井構成員

給食を通じて子どもが食への意識を高め、家庭の食育へとつながることを学校給食に期待している。

○谷村構成員

小学校だけでなく、中学校でもおいしく、楽しく、安全に食べられる給食になるとよい。

○高橋構成員

生涯健康であるためにも、栄養バランスだけでなく、ゆっくりよく噛んで食べることの重要性も伝えていただきたい。

4. その他

基本構想案がまとまった時点で、松井座長が構成員を代表して教育長に答申していただくことになる。

また、3月議会での報告、町長部局との意見交換等を踏まえた後、基本構想案の最終的な決定となる。

5. 閉会

学校教育課長より閉会の宣言を行った。